

僕

パソコン

は首里んちゅ

パソコンがしゃべるウチナーグチ

キーボードをたたくとパソコンが首里言葉をしやべる。琉球大学の高良富夫工学部助教授が開発した「琉球方言音声の規則合成システム」のデモンストレーション(写真)が、去る一月二十六日、市内の久茂地公民館で行われました。これは、文化財展「ふるさと沖縄のことば」(教育委員

会文化課主催)の一環として行われたものです。このシステムは首里言葉を仮説に基づいて規則化し、首里言葉の二種類のアクセント「平板型」「下降型」と自分自身の声を入力、いろんな組合せを繰り返しながら、首里言葉の規則をシステム化したものです。

日本語を首里言葉に変換することも可能ですが、一部例外的規則の音韻もあり、今後の研究の成果が待たれます。

文化財展は一月二十三日から二十七日まで開催され、二十七日には、上村幸雄琉大教授による講演「ふるさと沖縄のことば——その歴史と現在」も行われました。

